

N I T T A N
A R T F I L E 3

内なる旅 〜モノに 宿された 記憶

2019年10月5日(土) - 11月24日(日) 休館日 | 月曜日(ただし、10月14日(月・祝)、11月4日(月・振休))は開館し、翌火曜日(休館) 開館時間 | 午前9時30分 - 午後5時(入場は午後4時30分まで) ※10月5日(土)は午後8時まで開館



O C T 5 S A T - N O V 2 4 S U N . 2 0 1 9

次回以降開催の展覧会

企画展 「浅野武彦の木版画の世界」

北海道大学医学部在学時に、白老に疎開していた川上澄生に師事し、後に北海道版画協会の創立メンバーとして活躍した浅野武彦(1927-2016)の版画作品約100点をテーマごとに紹介します。

会 期 | 2019年12月7日(土) - 2020年1月19日(日)
場 所 | 企画展示室(第1～第2展示室)

特集展示 「ユア・セレクションー所蔵名品選展より」

収蔵品展「苫小牧市美術博物館所蔵名品選」(2018)を機に実施した「あなたが選ぶこの1点」の上位にランキングした選りすぐりの作品を紹介します。

会 期 | 2019年12月7日(土) - 2020年1月19日(日)
場 所 | 企画展示室(第3展示室)

企画展 「大正・昭和の鳥瞰図と空から見た昭和30年代の苫小牧」

大正から昭和初期にかけての旅行ブームを機に制作された、吉田初三郎(1884 - 1955)や金子常光などの鳥瞰図とともに、志方写真館が撮影した昭和30年代の苫小牧市街地の空撮写真を展示公開します。

会 期 | 2020年2月8日(土) - 3月29日(日)
場 所 | 企画展示室(第1～第2展示室)

特集展示 「映像展示(仮称)」

企画展「大正・昭和の鳥瞰図と空から見た昭和30年代の苫小牧」に関連した映像展示

会 期 | 2020年2月8日(土) - 3月29日(日)
場 所 | 企画展示室(第3展示室)



駅南口から、[1][2]いずれかに乗車
[1] タクシーに乗車 ※乗車時間は約10分
[2] バス乗り場から、いずれかに乗り「出光カルチャーパーク」で下車

のりば①から「24番」「30番(新千歳空港行)」「札幌駅前行」「郊外線」
のりば②から「01番」「21番」「22番」 / のりば③から「13番」「14番」
※バスの乗車時間は約10分、料金210円 ※下車後、徒歩5分

苫小牧市美術博物館

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号
TEL:0144-35-2550 FAX:0144-34-0408
<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan>
f <http://www.facebook.com/tomakomai.museum>

内なる旅 ～モノに宿された記憶

当館では2013年のリニューアル以降、美術と博物という複合施設としての特性をいかした展覧会活動を継続的に実施しています。2015年より隔年で実施している「NITTAN ART FILE」は、「胆振・日高＝日胆地方」ゆかりの現代美術を紹介する展覧会シリーズです。第3弾となる本展では、ミュージアムにおける「モノ＝資料、事物、対象」との出会いがもたらす感動や郷愁、そして時空を超えて心の中に宿される記憶や物語など、想像力が導くイメージを“内なる旅”として位置づけます。

関連イベント

アーティストトーク

出品作家による展示解説をおこないます。

日時 | 10月5日(土)10:30 - 11:45
場所 | 企画展示室
講師 | 本展出品作家
対象 | 一般 30名
参加料 | 無料 ※高校生以上の参加者は、当日有効の観覧券が必要

[お申し込み]
不要(直接会場へお集まりください)

担当学芸員による ギャラリートーク

学芸員が展示室内において本展および中庭展示の作品解説をおこないます。

日時 | 10月5日(土)18:00 - 19:00、
11月3日(日)14:00 - 15:00
場所 | 企画展示室、中庭展示スペースほか
講師 | 当館学芸員
対象 | 一般 各回30名
参加料 | 無料 ※高校生以上の参加者は、当日有効の観覧券が必要

[お申し込み]
不要(直接会場へお集まりください)

ワークショップ 「ルネサンスの技法体験! テンペラと油絵具」

油絵具の歴史について学んだあとに、絵具と卵を混ぜて描くテンペラ技法を体験します。

日時 | 11月10日(日)14:00 - 16:00
場所 | 研修室
講師 | 山田啓貴(画家)
協力 | 株式会社丸善美術商事
対象 | 一般(小学生以上)20名 ※低学年は保護者同伴
参加料 | 500円(材料費)

[お申し込み]
期間:10月16日(水) - 11月9日(土)
電話受付:0144-35-2550 ※定員になり次第締切

連動企画

中庭展示Vol.13 坂東史樹「小さくて深い空」

自身の夢や心象など、意識下に潜在する不可視のイメージを可視化する坂東史樹(1963-)による苫小牧港をモチーフにした模型を配置するインスタレーションを紹介します。

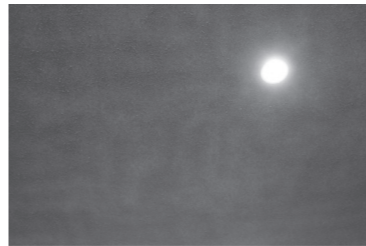
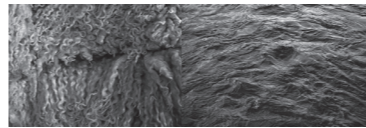
会期 | 10月5日(土) - 11月24日(日)
場所 | 中庭展示スペース

「資料と映像表現の出会い@ミュージアム: ワークショップ」成果展示

博物館常設展展示室内で写真を撮影するワークショップ(7月28日実施)において講師を務めた大島慶太郎(映像作家)が、参加者の成果作品を編集のうえ出品作品として展示します。

会期 | 10月5日(土) - 11月24日(日)
場所 | マルチビジョン室(常設展示室内)

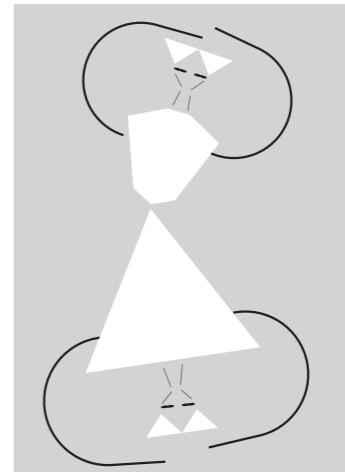
モノを体系的に収集・保管・展示する場であるミュージアムは、そこに宿された記憶をもコレクションする、いわば精神と物質が交差する地点ともいえるでしょう。本展ではそうしたヒトとモノにまつわる記憶が折り重なる場において、日常や身のまわりのモノに着想を得た表現を探求する4人の現代作家の作品を紹介します。この機会に郷愁やユーモア、そして魅惑に満ちた“内なる旅”にいざなわれてみませんか。



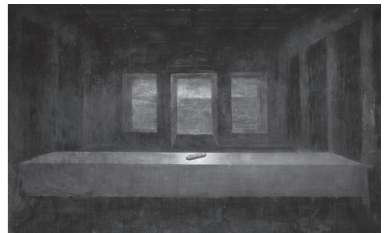
浅井 真理子 /
上から〈4つの谷の物語〉2019、
《ガラスノメノシセン_see out of sight》2018



大島 慶太郎 /
上から〈a found beach〉2012、〈re-girl-flash〉2013、
〈surface〉2013



小島 歌織 /
上から〈個人シリーズ01〉2016、〈kcatシール〉2013



山田 啓貴 /
上から〈あの食卓についてのは一番だった〉2018、
〈心舞う灯り〉2016



美術家

浅井 真理子

MARIKO ASAI

1986年愛知県立芸術大学油画科卒業、88年同大学大学院修了。埼玉県在住。写真や映像、ドローイングなどの手法を用いて、固定観念に囚われない「気づき」をもたらす作品を制作。近年は「モノ」と化したはく製の「ガラスの目」を内と外の間の被膜として捉え、はく製の「視線の先」を追うシリーズ(ガラスノメノシセン_see out of sight)を展開。その先に映し出される光景を抽出することで内と外の関係性を際立たせ、見る者に日常性や知覚のあり方への再考を促す作品空間を提示している。



映像作家

大島 慶太郎

KEITARO OSHIMA

1977年釧路市生まれ。札幌市在住。幼年期を胆振管内の伊達市で過ごす。2004年北海道教育大学大学院修了。2012-13年ケルンメディア芸術大学(ドイツ)特別研究員。『動画構造の解体と再構築』をテーマとして映像作品の制作及び表現研究に取り組む。近年は古写真や絵葉書をはじめとする学術資料など、既存のイメージを素材として扱いながら実験的な映像作品を制作。現在、北海道情報大学情報メディア学部准教授。



グラフィックデザイナー

小島 歌織

KAORI KOJIMA

1982年苫小牧市生まれ、札幌市在住。グラフィックデザイナーとして広告などのデザインを手掛けたかわら、ドローイング、インスタレーションなどの創作活動を展開。瞬間的に見た絵の見間違えや、言い間違えからはじまる言葉遊び、異なる文脈のモノ同士の組み合わせなど、偶然性に基づくイメージを抽出することにより、モチーフとなる対象の本来的な意味を超えた、象徴的な機能をもつオブジェ等も制作している。



画家

山田 啓貴

KEIKI YAMADA

1978年苫小牧市生まれ、札幌市在住。2004年多摩美術大学大学院美術研究科修了。古典絵画を参考にしながら油彩とテンペラの混合技法による細密画を探求。自身の幼年期の頃からの深い思い入れのある事物を主なモチーフとしながら、画面全体を温かみのある色調にまとめ、背景を単色に処理するなど、個々のモノに焦点を当てることで、見る者の郷愁を誘う装置としての作品を制作している。NHK放映の番組『美の巨人たち』(2017年9月30日放映)に出演し、東郷青児の油彩画《望郷》を再現するなど絵画技法の研究者としても評価を得ている。

会期 | 2019年10月5日(土) - 11月24日(日) 休館日 | 月曜日(ただし、10月14日(月・祝)、11月4日(月・振休)は開館し、翌火曜日が休館) 開館時間 | 午前9時30分 - 午後5時00分(入場は午後4時30分まで) ※10月5日(土)は午後8時まで開館

会場 | 苫小牧市美術博物館(北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号 TEL:0144-35-2550 FAX:0144-34-0408) <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan> <http://www.facebook.com/tomakomai.museum>

観覧料 | 一般 ¥300(240)、高大生 ¥200(140)、中学生以下無料 ※()内は10名以上の団体料金 ※年間観覧券による観覧可能 ※免除申請についてはお問い合わせください ※併せて常設展・中庭展示もご覧いただけます ※11月3日(日・祝)は無料観覧日

主催: 苫小牧市美術博物館 協力: 石川県立自然史資料館、NPO法人樽前artyプラス、金沢大学資料館、株式会社中央発條製作所、株式会社堀内カラー、至峰堂画廊、スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団 後援: 苫小牧信用金庫、北海道新聞苫小牧支社、株式会社苫小牧民報社、株式会社三星、北海道新幹線×nittan地域戦略会議